



協定書を掲げる山崎市長（右から2人目）と各市の代表

府県越え広域に
近年、集中豪雨や台風などによって大規模災害が全国各地で発生しています。同協議会では、こういった事態に対応するため、災害時に府県の境界を越えて連携・相互応援する協定を締結しました。府県を越え隣接する自治体が個々に協定を結ぶ例はありますが、大丹波連携のような複数の自治体による広域応援体制は、先進的な取り組みです。

応急対策と復旧で相互支援
協定は、各市町で災害が発生し、被災市町のみでは十分

な対応ができない場合に相互に協力して、応急対策・復旧を行うというものです。丹波地域における広域応援体制の新たな枠組みを作ることにより、市民の安全と安心を守ります。災害時の主な応援事項は次のとおりです。

- 応急対策と復旧に必要な資機材・物資のあっせんや提供
- 応急対策と復旧に必要な職員への派遣
- 被災者と避難者の相互の受け入れ

また、防災力の向上を目的とし▽地域防災計画やそのほか必要な資料・情報の交換▽防災訓練や市民への啓発活動▽救援に必要な物品などの備蓄連携—なども行います。

安全・安心へ大丹波で連携 災害時の 相互応援協定を締結

京都府と兵庫県、両府県の6市1町で構成する大丹波連携推進協議会は5月8日、災害時等相互応援に関する協定を締結。綾部市もこの枠組みの中で連携し、広域防災に取り組みます。



京都府4市1町、兵庫県2市で協定



あやちゃん健康ポイントカード

6月1日～

健康づくりでグッズ当てよう!



市は「あやちゃん健康ポイント」制度を6月1日からスタート。各種健康診査の受診、市が行う教室やイベントへの参加、運動の実施などでポイントをためると、好きな賞品と交換でき、さらに健康グッズの抽選に応募できます。



カードにためよう

対象は20歳以上の綾部市民。あやちゃん健康ポイントカードは、4月に各世帯配布の「健康診査のお知らせ」や市ホームページ、保健福祉センターで入手できます。6月1日から12月31日までの間、カードに健康診査やがん検診の受診、運動の記録を記入するほか、市が実施する健康教室・イベントへの参加でスタンプを押してもらい、ポイントをためましょう（最大1,000ポイントまで）。



交換・応募は来年1月末まで

必要なポイントがたまったら、集団検診が無料で受けられるなどの賞品と交換できます＝表。300ポイント以上をためると30人に健康グッズ＝左＝が当たる抽選に参加できます。ポイント交換・応募は1人1回のみ。平成27年1月30日までに保健推進課に提出してください。郵送、ファクスでも受け付けます。当選者には2月末ごろに賞品の引換券を送付します。詳しくは保健推進課☎(42)0111へ。

ポイントで交換できる賞品

種類	必要ポイント
あやべ健康プラザ1回分利用券	1,000
特定健診、乳がん検診無料券	1,000
子宮がん検診無料券	700
胃がん・大腸がん検診無料券	500
前立腺がん検診無料券	300
あやべ温泉利用券	400
市指定ごみ袋 (45ℓ・10枚)	300

悪質商法にご注意を!

綾部市消費生活センターで平成25年度に受け付けた相談件数は124件。うち83件は60歳以上の人が関係しています。自分は大丈夫と思ってい人ほど無防備になるため、関心を持って注意をしましょう。

相談・出前講座を受け付け

同センターでは、困りごとやトラブルがある場合、窓口と電話で随時相談を受け付けています。秘密は厳守されますので、困ったときは1人で悩まず、気軽に相談ください。多く寄せられた相談は次のとおりです。

健康食品 注文した覚えがないのに送り付けられた。
投資詐欺の2次被害 投資トラブルに遭った人に被害金を取り戻すなどと勧誘し、手数料などを請求された。
アダルトサイト ホームページを閲覧していて、無料だと思いきりクリックしたところ、料



相談窓口

金請求画面が出た。
消火器 引き取りだけだと思っていたら、新しい消火器も契約させられた。

海外宝くじ 当選したかのような手紙が海外から突然届き、賞金を受け取るための申込金などを支払われた。

同センターでは「消費生活出前講座」を開催。地域の公民館などで、悪質商法の手口や被害に遭わないためのポイント、被害に遭った場合の早期解決のためのアドバイスを話しします。参加人数10人から申し込みを受け付け。時間は30〜60分程度で、希望時間に合わせます。
詳しくは市消費生活センター（市役所商工労政課内）☎内線308へ。

善聞 語録



51

静かなる多数派

市民の声を聴け! と言われる。もちろん異論はない。民意は「天の声」であり、民主主義とは民意が最大限に活かされることを前提にした制度である。しかしながらその民意も、いろいろある。

論理的に筋の通った意見もあれば、思いつきでしかないと思えるものもある。我田引水的な意見もあれば、声の大きな訴えもある。フワツとした民意に迎合して権勢を得たものの、一転して逆風に煽られた政治家もいる。大切なことは、1人ひとりの異なる声を聴いた上で、確固たる責任感をもって政策に練り上げていく構

想力・実行力ということか。

とかく大きな声は耳に入り易い。ただし声の大きさと、その意見を支持する人の数は必ずしも一致しない。声の大小に惑わされることなく、逆に「声なき声」に敏感になるように日ごろから自らに言い聞かせている。大きな声に違和感を覚えるときは尚更だ。現地現場に向いて開催している「ふれあい出張市長室」は40回を数えるが、この場でこそ市民の本音に触れられる。経験的には、声なき声が実は多数派であり、また常識的な判断である例証が多い。

声なき声をしっかりと聴き分けるには、常日頃から耳を清浄に保っておくことが基本。そして微かな声の振動から生じる空気の揺れを全身で感じとれるアンテナを身に付け、さらにはその振動の意味するところを解読できる神経細胞を涵養しておくこと以外に術はないかろう。

山崎善也（綾部市長）

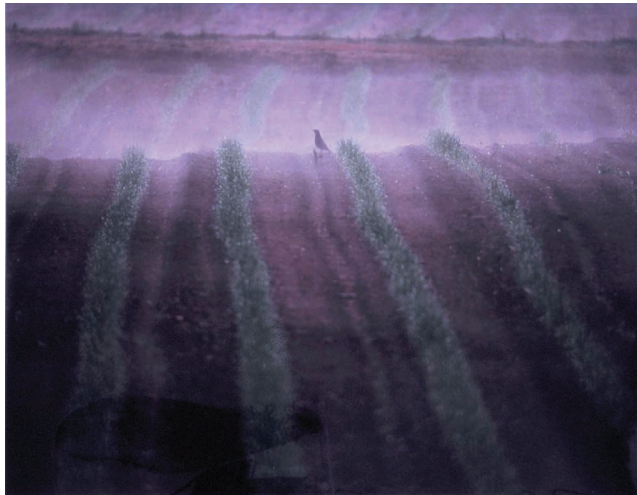
第31回綾部市美術展

市展賞

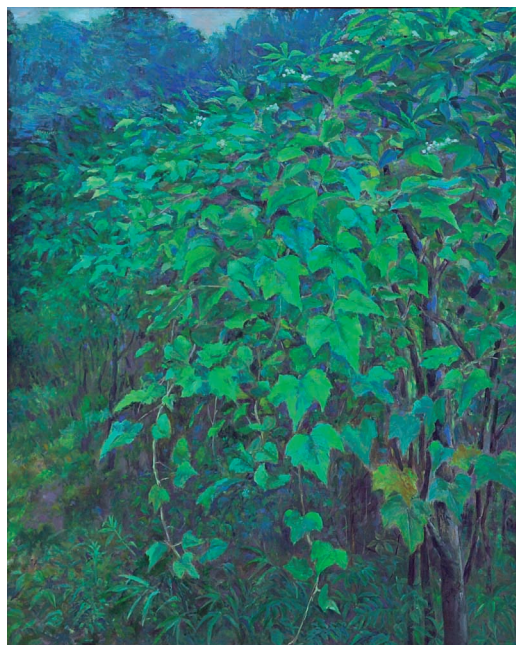
5月2日から6日まで並松町の市民センターで「第31回綾部市美術展」(市、市教育委員会主催)を開催しました。今回は、市内外の211人が計270点を出品。期間中は審査員によるギャラリートークも行われ、作品鑑賞に延べ1065人が来場しました。

入賞作品

▲ 写真「大地の目覚め」
芦田千賀子

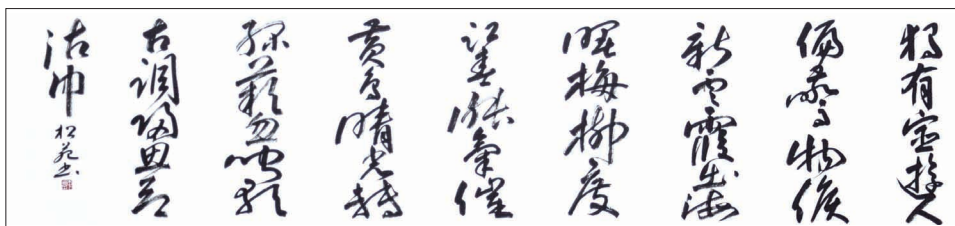


日本画「刻を経て」
▼ 木村篁子



▲ 洋画「蒼い刻」
朝倉洋子

今回も4部門(書、洋画、日本画、写真)で審査。高年生の出品は書の部と洋画の部にこれまでで最多となる計7人が出品し、洋画の部では吉田有花さん(西町二丁目)が奨励賞に選ばれています。各賞の受賞者は次の皆さんです(順不同、敬称略)。



▲ 書「早春」
木下悦子

市展賞【書】 木下悦子(福知山市) 【洋画】 朝倉洋子(上野町) 【日本画】 木村篁子(田町) 【写真】 芦田千賀子(私市町)。

特選【書】 大槻謙(西町三丁目)、若田由美子(福知山市)、山内利男(同) 【洋画】 亀井毅(舞鶴市) 【日本画】 滝本千壽子(若松町) 【写真】 四方國裕(宮代町)、村上正美(味方町)、木崎誠(福知山市)、武中三喜(同)、大内節子(同)、浅野三雄(京丹波町)。
奨励賞【書】 岩崎久美子(綾中町)、高橋一真(延町)、井上志登美(福知山市) 【洋画】 吉田有花(西町二丁目) 【日本画】 白波瀬一郎(鷹栖町)。
【写真】 上羽寛一郎(新庄町)、安達秀敏(青野町)、四方純子(梅迫町)、濱田伊都江(福知山市)、白木勇治(同)、因幡孝一(同)、岡本晃一(同)、和田国広(同)、河田長友(舞鶴市)、平田仁(同)、上野紀子(城陽市)。
※一部の作品はネットミュージアム「あやべ里山美術館」
<http://www.ayabe-museu.n.jp/>でも公開いたします。

「おもしろ自転車」大集合!

里町の天文館パオは4月26日〜5月6日、「おもしろ自転車に乗ろう」を開催。ゴールデンウィーク恒例となったこのイベントは、今年で16年目を迎えました。飛行機や巻きずし、野菜など様々な形をしたものや、二人乗りや三人乗り、上下や左右に揺れるものなど、10台の珍しい自転車に、訪れた子どもたちは夢中になって、特設コースを走り回っていました。



丹の国まつりに甲冑隊登場

あやべ丹の国まつりが4月29日、西町アイタウンなどを会場に開催。I・Tビルで開かれた芸能発表会では、NHK大河ドラマ誘致のPRに丹波福知山手づくり甲冑隊が登場し会場を盛り上げました。同日から5月4日まで、青野町の由良川花庭園ではあやべ由良川花壇展を実施。花苗の販売やもちつき大会もあり、家族連れなどでにぎわいました。



豊里小でおもしろ科学体験

栗町の豊里小学校は4月26日、「おもしろ科学体験」を初めて実施。同小体育館に体験ブースが設置され、京都大の学生が説明を行いました。児童らはニュートンの揺りかごⅡ写真Ⅱや圧縮発火装置などの実験に興味津々。道具に触れたり、ヘッドホンや光るツリーなどを工作したりして、科学の不思議や楽しさを肌で感じていました。



上林小、思い出の校舎見学会

来年4月の「上林小中一貫校」開校に伴い、現在の上林小学校校舎はその役目を終えます。同小学校では5月4日、「思い出の校舎見学会」を開催。参加した人の中には千葉県や神奈川県から訪れた卒業生もあり、6年間の思い出がいっぱい詰まった校舎との別れを惜しんでいました。次回の見学会は8月16日に開かれる予定です。

